



資源を考える

私たちの毎日の生活の中で、何気なくしていること全てにエネルギー資源が携わっています。

料理を作る、お風呂に入る、車で通勤する、テレビを見る、こんなあたりまえのことが出来なくなる時代が近づいています。

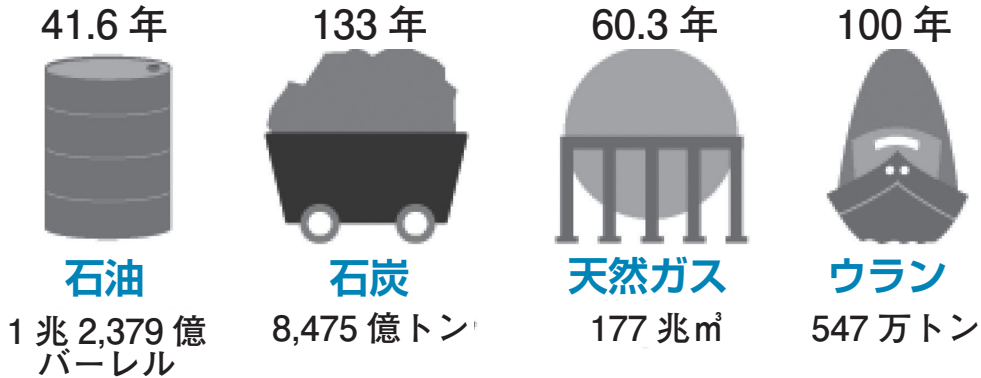
なくなる恐れのある資源

先日、環境を考えるテレビ番組の中で、現在地球上に残されている石油は、富士山何個分だとおもいますか？という質問がありました。

みなさんは、どのくらい残っていると思いますか。出演者は、1000個分くらいと答えましたが、実は、富士山1/7個だそうです。正直とても驚きました。

現在、私達の生活になくてはならない石油は、このままのペースで使い続けると約40年でなくなってしまうと言われていています。今まで普通に使っていた、電気が使えなかったり、車やバス、飛行機にも乗れなくなり、私達は普通の生活が出来なくなってしまう可能性があるのです。

限りあるエネルギー資源



出典〉石油・石炭・天然ガス：BP統計2008　ウラン：IAEA URANIUM2007

資源を未来へ

このまま自分達の都合だけで資源の無駄遣いを繰り返していくと今後、地球や私達の暮らしはどうなるのか、皆さんも一緒に考えてみませんか。

今、地球が深刻な状況になりつつあるという現実にも少しでも気づいていただき、恵み豊かなふるさとの環境を将来の世代にしっかりと引き継いでいくために、一人ひとりが地球社会の一員として、環境問題を自らのこととして、身近にできる省エネを実践し、日常生活を環境にやさしいものに変えていく必要があります。

石油や他のエネルギー資源のことをよく知り、地球全体の環境のことを考えて生活することが大切だと思います。

これからもできることから”ちよつとずつeco”しましょう！